

第5回 能登半島絶景海道の 創造的復興に向けた検討会

(1) 新たな取り組みの状況

- 1) 「1. 能登の魅力を「ぐるっと感動！」」の取り組み状況
- 2) 「2. 人が集まる「道の駅」へ」の取り組み状況
- 3) 「3. じてんしゃ旅、ふたたび」の取り組み状況
- 4) 「4. 風景街道がつむぐ絆を未来へ」の取り組み状況

令和7年12月8日

1)「1. 能登の魅力を「ぐるっと感動！」」の取り組み状況

能登半島絶景海道の創造的復興に向けた基本方針案「1. 能登の魅力を「ぐるっと感動！」」で整理している取り組みの実施状況は以下のとおりです。

取り組み名	短期		中・長期 R 9 ~	想定される 実施主体	これまでに実施した事業等
	R 7	R 8			
1-1-① 絶景を眺望できるパーキング等の整備			→	国・県・市町	
1-1-② ドローン構想の支援			→	国・県・市町 民間	・空飛ぶ車試験飛行
1-1-③ 新たな絶景、メモリアルパークの発掘			→	国・県・市町 民間	・能登絶景『美岩』の選定
1-1-④ 今しか見られない能登ツアー開催支援			→	国・県・市町	・今しか見られない能登ツアー開催
1-1-⑤ 「能登半島地震を学ぶ旅」開催支援			→	国・県・民間	・のと里山空港で「能登半島を学ぶ旅」開催
1-1-⑥ 奥能登国際芸術祭への支援			→	国・県・市町 民間	
1-1-⑦ 地域のニーズに対応した隆起海岸等の新たな活用の検討			→	県・市町	
1-2-① 「能登半島絶景海道」の復旧・整備			→	国・県・市町	・道路復旧
1-2-② 標識、案内看板へのロゴマーク等の記載			→	国・県・市町	・ロゴマークの決定
1-2-③ 石川県観光連盟デジタルマップ等の活用			→	県・市町・民間	・「今行ける能登」の発信
1-2-④ モデルルートの設定			→	県・市町・民間	

1)「1. 能登の魅力を「ぐるっと感動！」」の取り組み状況 のと里山空港で「能登半島地震を学ぶ旅」【基本方針:1-1-⑤】

石川県が実施するのと里山空港を利用した取り組みにおいて、「能登半島地震を学ぶ旅」として、能登復興事務所の職員が能越自動車道、国道249号(能登半島絶景海道)の復旧過程や工事を説明しました。

- 実施日、団体: 11月10日(月) つくば市商工会
11月13日(金) 三多摩建設業連合会
11月14日(日) 出雲商工会議所
11月24日(月) 東大和市商工会

- 場 所 : のと里山空港敷地内 仮設飲食店<NOTOMORI>コワーキングスペース



能登復興事務所職員による説明

【参加者の声】

- ・能登の復旧過程と今の状況を知ることができたので、地元にいる学生らとまた参加したいです。
- ・関東では能登半島地震の報道が減っており、復興状況がわかりませんでした。
復旧の進捗を知ることができ、継続的な復興支援が必要だと感じました。

1)「1. 能登の魅力を「ぐるっと感動！」」の取り組み状況

ロゴマークの決定【基本方針:1-2-②】

第4回検討会で委員から頂いたいご意見を踏まえ、能登半島絶景海道のロゴマークを以下のとおり修正しました。

【主な変更箇所】

●デザイン

シルエットは丸ゴシックのフォントを基本とし、表情は「かわいらしさ」を重視して目や口の大きさを修正

●色

海をイメージ:青色

豊かな自然をイメージ:緑色

夕日をイメージ:オレンジ色

修正前のロゴマーク



<修正後のロゴマーク>



GRANOTO



GRANOTO



GRANOTO



GRANOTO



2)「2. 人が集まる「道の駅」への取り組み状況

能登半島絶景海道の創造的復興に向けた基本方針案「2. 人が集まる「道の駅」へ」で整理している取り組みの実施状況は以下のとおりです。

取り組み名	短期		中・長期 R 9 ~	想定される 実施主体	これまでに実施した事業等
	R 7	R 8			
2-1-① 「道の駅」の機能強化			→	国・県・市町	
2-1-② サイクリストサポート施設等、 サイクリスト等受入環境の整備			→	県・市町・民間	・サイクリング試験走行
2-1-③ モーターサイクルパーキングの拡充 モーターサイクルライダー受入環境の整備			→	国・県・市町 民間	
2-1-④ メモリアルパーク（震災遺物）の展示			→	国・県・市町 民間	
2-2-① 「道の駅」リレーイベント開催			→	国	・「道の駅」リレーイベント 開催（第1回から第7回）
2-2-② 特産物の販路開拓支援			→	国・県・市町 民間	

2)「2. 人が集まる「道の駅」への取り組み状況

「道の駅」リレーイベント(第4回～第7回)【基本方針:2-2-①】

地震による隆起海岸など新たな絶景スポット等を県内外にPRし、能登地域に人が集まるよう、能登の力強い復興を支援することを目的とした「道の駅」リレーイベントの第4回～第7回を開催しました。

【第4回「道の駅」ながおか花火館

(新潟県長岡市)



ポスターの展示

【期間】

令和7年7月30日
～9月1日

【第5回「道の駅」能生(新潟県糸魚川市)】



ポスターの展示

【期間】

令和7年9月1日
～10月1日

【第6回「道の駅」メルヘンおやべ

(富山県小矢部市)



ポスターの展示

【期間】

令和7年10月1日
～10月31日

【第7回「道の駅」万葉の里高岡

(富山県高岡市)



パネル・メモリアルパート
(震災遺物) の展示

【期間】

令和7年10月31日
～11月28日

【今後の予定(令和7年度)】

12月「道の駅」KOKOくろべ → 1月「道の駅」しらやまさん → 2月「道の駅」俱利伽羅源平の郷 →
3月「道の駅」織姫の里なかのと → 令和8年度以降も継続実施

3) 「3. じてんしゃ旅、ふたたび」の取り組み状況

能登半島絶景海道の創造的復興に向けた基本方針案「3. じてんしゃ旅、ふたたび」で整理している取り組みの実施状況は以下のとおりです。

取り組み名	短期		中・長期 R 9 ~	想定される 実施主体	これまでに実施した事業等
	R 7	R 8			
3-1-① 自転車通行空間の整備			国・県・市町	・サイクリング試験走行	
3-1-② サイクリスト等サポート施設の整備(再掲)			県・市町・民間	・サイクリング試験走行	
3-1-③ 多言語版ルートマップの作成			県		
3-2-① サイクルスポーツイベント (ツール・ド・のと等) の支援			国・県	・奥能登復興サイクル100開催	
3-2-② サイクルトレインの支援			県		
3-2-③ いしかわ里山里海サイクリングルートの ナショナルサイクルルート指定を 目指した取り組みの推進※			県・市町		
3-2-④ モデルコース (難易度、ターゲット別) の設定			県・市町		
3-2-⑤ レンタサイクルの推進			市町・民間		
3-2-⑥ サイクルツーリズムと連携したイベント の開催			国・県・市町 民間		

※「いしかわ里山里海サイクリングルートのナショナルサイクルルート指定を目指した取り組み」は、石川県全体で推進する取り組みであり、参考として記載する。

3) 「3. じてんしゃ旅、ふたたび」の取り組み状況

サイクリング試験走行参加者の声 【基本方針:3-1-①】

サイクルツーリズムの推進に向けて、試験走行を実施し、利用者のニーズを調査しました。

【実施期間】

令和7年9月20日(土)～23日(火・祝)
27日(土)、28日(日) 延べ6日間

【コース】

輪島エリア: 白米千枚田周辺2コース
(短距離7km、長距離12km)
珠洲エリア: 大谷地区周辺2コース
(短距離9km、長距離20km)

【参加者数】

217名 (輪島エリア: 129名、珠洲エリア: 88名)

【主な感想】

- ・能登半島の美しい景色を初めて自転車目線から眺めることで、改めて風景の魅力を感じた
- ・自転車だからこそ、地域の方との身近な交流も楽しめた
- ・最高の景色なので、早く道路がよくなり、走りやすくなってほしい
- ・レンタルした電動アシスト自転車により、疲れずに景色を楽しめた



3) 「3. じてんしゃ旅、ふたたび」の取り組み状況

奥能登復興サイクル100参加者の声【基本方針:3-2-①】

ツール・ド・のと400特別企画「奥能登復興サイクル100」は、県内外から107名が参加し、参加者からは創造的復興に向けた前向きな意見が聞かれました。



【参加者のSNSに上げられた主な感想】

- ・今回のライドでは、確かに復興が前に進んでいることを強く感じました
- ・報道では判らない事が自分の経験として実感できたのは貴重です
- ・やはり自分の目で見るその様子は強く印象に残るものでした
- ・日本縦断してきたけど、ここには、絶景がありました♪
- ・今年中にもう一度プライベートで奥能登を走りたい
- ・災害時の課題を改めて考える機会となりました

4) 「4. 風景街道がつむぐ絆を未来へ」の取り組み状況

能登半島絶景海道の創造的復興に向けた基本方針案「4. 風景街道がつむぐ絆を未来へ」で整理している取り組みの実施状況は以下のとおりです。

取り組み名	短期		中・長期 R 9 ~	想定される 実施主体	これまでに実施した事業等
	R 7	R 8			
4-1-① 能登半島国定公園の拡張支援			→	県	
4-1-② 絶景を眺望できるパーキング等の整備 (再掲)			→	国・県・市町	
4-1-③ オリジナルグッズの企画・販売	→	→	→	市町・民間	・奥能登絶景海道グッズ販売
4-1-④ 観光ガイド（震災の語り部）等による 震災の記憶の伝承			→	県・市町・民間	
4-1-⑤ 「つなげよう絶景海道」クラフト コンテスト開催	→	→	→	国・県	・クラフトコンテスト開催 (第1回、第2回)
4-1-⑥ トキをシンボルとした地域活性化の推進	→	→	→	県・市町・民間	
4-1-⑦ 能登駅伝復活の支援			→	県	
4-2-① 標識、案内看板へのロゴマーク等の記載 (再掲)			→	国・県・市町	・ロゴマークの決定
4-2-② 各種団体との協力体制構築	→	→	→	国・県・市町	・地域活動団体へのヒアリング
4-2-③ 復興イベントの開催	→	→	→	県・市町・民間	・富山から石川へ復興応援 ライド開催
4-2-④ ツーリングイベント（にっぽん応援 ツーリング、SSTR等）との連携	→	→	→	国・県・市町 民間	・SSTR事務局へのヒアリング
4-2-⑤ 民間企業との連携による新たな取り組み の推進			→	県・市町・民間	

4) 「4. 風景街道がつむぐ絆を未来へ」の取り組み状況

第2弾クラフトコンテスト審査会【基本方針:4-1-⑤】

令和7年7月10日～10月15日に作品を募集した“第2弾「つなげよう絶景海道」クラフトコンテスト in 珠洲市大谷地区”の審査会を11月25日に開催しました。

第2弾の審査では、未来の土木技術者となる石川工業高等専門学校の学生に審査をしてもらいました。審査結果は、12月中旬に能登復興事務所ホームページにて発表予定です。



審査の様子

つなげよう絶景海道
クラフトコンテスト ② 珠洲市大谷地区
★ 国道 249 号の未来をマイクラで創造しよう！ ★

作品テーマ
道路を舞台にした
“にぎわいづくり”

2024 年 1 月 1 日に発生した「令和 6 年能登半島地震」や 9 月 21 日からの「令和 6 年東能登震」により、大規模な地すべりや土砂崩落が発生した珠洲市大谷地区。未来につなぐみづくり。まちづくりをあなた自身で計画してみませんか？マイクラフトに展開したワールドで将来の道や街並みを自由に創造しましょう。

応募期間 2025.7.10 ~ 10.15

■ 応募対象者
マイクラフトに興味のある方
能登半島地震等からの復旧・復興に興味のある方
能登半島絶景海道に興味のある方
建設・環境分野に興味のある方

■ スケジュール
7 月 10 日：公募開始（参加者へデータ提供）
10 月 15 日：作品の提出締切
12 月 1 日：審査・結果発表

■ コンテストの詳細・応募方法
能登復興事務所 HP や右の二次元コードの専用フォームよりお問い合わせ・お申し込みください
<https://nationalroute249-craftcompetition.net>

■主催:能登半島絶景海道の創的復興に向けた検討会事務局

第2弾クラフトコンテストの概要

